

Reddy MECHANICAL METER

TURBO METER

取扱説明書

この度はグレッディ・メカニカルターボメーターをお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。

本製品は、車両の吸入空気圧力の状態を確認する為のメーターです。

この取扱説明書は、メカニカルターボメーターを初めてお使い頂く方はもちろん、すでに、お使いになられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再認識する上でお役に立つものと考えております。

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にお使いくださいますようお願い申し上げます。

また、この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように車内に保管されることをお勧め致します。

◆お客様と製品のかかわり合い◆ 必ずお読み下さい

車とその取り扱い方法は、各自動車メーカーの、お客様に対しての安全と快適な生活に関する、不断の研究開発の結果として生み出されたものです。

弊社もまた、お客様に製品を安全にかつ快適にお使い頂くために、不断の努力をしておりますが、製品の持つ特性上、その性能や利便性と引き替えに、自動車メーカーの提供する安全が、確保できない場合があります。

その様な場合に必要な、安全に対する配慮と判断は、すべてお客様ご自身の責任でお考え頂くことにはなりません。

お客様の車と弊社の製品を、安全にかつ快適にお使い頂くためにも、製品を取り付ける車の取扱説明書を合わせて、よくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

1. 安全・取り扱いに関するご注意 必ずお読み下さい



製品を安全にお使い頂くには、正しい取り付けと正しい操作が不可欠です。

この取扱説明書、ならびに、取り付けの車両の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上でお使いください。









また、この取扱説明書に書かれていない取り扱いをされる場合に必要な、安全に対する配慮は、全てお客様ご自身の責任でお考え頂くこととなります。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂くために、守って頂きたい事項を示しています。







その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくお読みになり、十分に理解された上でお使いください。

 警告	もし、お守り頂かないと、生命の危機、または、重傷を負う人身事故につながる恐れのある注意事項です。
 注意	もし、お守り頂かないと、製品だけでなく、自動車や設備の破損・故障につながる恐れのある注意事項です。
お願い	製品を正しくお使い頂く為に、必ず守って頂きたい注意事項です。
重要	製品を正しくお使い頂く為に、知っておいて頂きたい注意事項です。

警告

-  取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取り扱い説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理してください。自動車は誤った扱い方をすると、思わぬ人身事故を引き起こす恐れがあります。
-  必ず自動車の下に燃えやすい物がない事を確認してから、停車、駐車してください。自動車の排気部分は高温になり、エンジンを動かしたまま枯れ草等の燃えやすい物の上に停車や駐車をすると、火災の危険があります。
-  必要な時以外は、必ずエンジンを停止してください。マフラーのテールパイプからは、有害な成分が含まれた排気ガスが排出され、締め切った車庫や倉庫の中でエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒になる危険性があります。やむを得ずエンジンを動かす時は、屋外または窓を開け換気扇等を回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で作業してください。
-  本製品の取り付け・配管作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。専門外の方が作業されると、ケガや火傷を負う危険性があります。
-  取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、脱落を招き、車両破損の原因や運転の妨げとなり、また、視界の妨げとなる可能性があり、大変危険です。
-  本製品の取り付け作業を行う際は、必ずエンジンが冷えてから行ってください。エンジン停止直後は、エンジンやその周りの配管等は、非常に高温になっており、火傷をする恐れがあり大変危険です。
-  車両を発進させる時は、必ず周りに何も無い事を確認してください。不用意に発進させると、思わぬ人身、物損の事故等を引き起こす恐れがあります。
-  作業終了後は必ず、運転席の足下に何も無い事を確認してください。運転席の足下に空き缶や使用した工具等があると、ブレーキペダルの下に挟まり、ブレーキ操作が出来なくなる恐れがあり、大変危険です。

注意

-  本製品の取り付けには、車両の内外装、及び電装系の加工、取り外し等の作業が伴います。当社はこれらの作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を進めてください。
-  配線作業を行うためには、必ずキーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外してください。配線作業中に電流が流れると、ショートする可能性があり、危険です。
-  くれぐれも、誤配線、ショートはさせないでください。本製品だけでなく、取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。
-  ハンダ付けにて配線を接続した場合は必ずビニールテープ等を巻き、絶縁してください。
-  配管する際は、ゴムホースが抜けないように、接続部分をホースバンドで固定してください。
-  本製品は、絶対に分解しないでください。ケース破損や故障の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。

お願い

- ・バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリー機能を持った時計、オーディオ類、ナビゲーションシステム、及び電動シート等、記憶内容が消去させる物があります。作業前に、車両、及び各製品の取扱説明書で確認した上で作業を進めてください。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って、設定し直してください。
- ・本製品は精密機器の為、落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。
- ・新品をお買い上げの時点で、保証書の製品番号とメーター本体の製品番号が異なっている場合は、お手数ですが、お買い上げ店、または、弊社までご連絡ください。
- ・本製品をお買い上げ後、3. パーツリスト欄のパーツがあることをご確認ください。
- ・本製品のお手入れの際は、乾いた布で拭いてください。汚れのひどい場合には、少量の水をつけ固く絞った布で拭いてください。ベンジン・シンナー類を使用すると、ケースや塗装が変質しますので絶対に使用しないでください。
- ・本製品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。
For Sale and Use in Japan Only.
- ・本製品に関するご不明な点等がございましたら、弊社までお問い合わせください。

作業の方へ

- ・取り付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ずお客様に返却してください。

使用者の方へ

- ・ターボメーターを取り付けた車両を、他の人に貸し出し、または譲渡する場合は、必ずターボメーターが取り付けられている事を知らせ、この取扱説明書と保証書も必ず渡してください。

2. 本製品の特徴

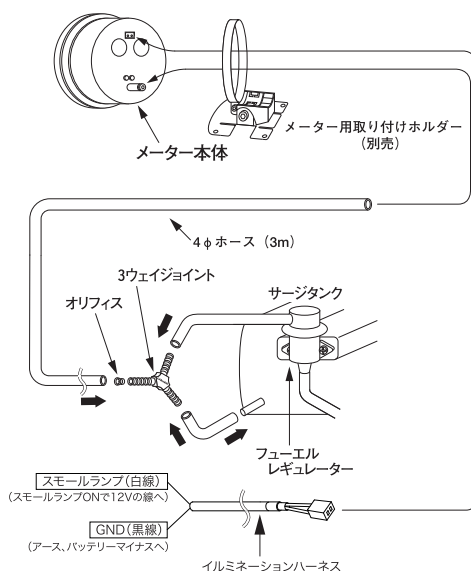
- ・本製品は12Vバッテリー搭載の国産車に使用できます。
- ・メーター表示も、好評なデザインを残しつつシンプルにし、ワイドなスケールにより見やすさ UP!
- ・機械式メーターの為、取り付けが簡単です。

3. パーツリスト

パーツリスト	最低限必要な物と工具
・メーター本体 ・4φホース (3m) ・イルミネーションハーネス (0.5m) ・3ウェイジョイント (オリフィス付き) ・取扱説明書 (本書)	・ニッパー ・プライヤー ・+、-ドライバー ・10mm のスパナ、またはレンチ ・テスター (15V 以上計れるもの) ・延長用ハーネス

4. 取り付け方法

- ① エンジンルームの仕切り板に4φホースを通せる穴を見つけるか、無い場合には穴をあけ4φホースを通します。穴の切り口は、必ずグロメット等を使用し4φホースを保護してください。
※ホースを配管する際は、ホースにつぶれ、よじれ等の無いようにしてください。
- ② サージタンクとフューエルレギュレーター間のバキュームホースをサージタンク側で外し、右記の図を参考に付属の4φホースを使って配管してください。
- ③ 車種によってはアイドルリング中に針振れの出る場合があります。この様な時は、3ウェイジョイントのメーターに向かうジョイント部へ付属のオリフィスを差し込んでください。
※オリフィスは3ウェイジョイントから抜けないよう、確実に差し込んでから配管してください。
※オリフィスを入れると多少針の動きが鈍くなります。
- ④ メーター本体を別売のメーター用取り付けホルダー等を使用し、運転操作や前方視界の妨げにならない場所へ取り付けてください。
- ⑤ ハンダとハンダゴテを使用し、イルミネーションの配線をします。白線を、スモールランプをONにした時12Vとなる線に、黒線をアース線に結線してください。
※配線の接続部は必ず、ビニールテープ等を巻き絶縁してください。
- ⑥ 作業終了後には、必ずエンジンを掛け、取り付け配管が確実に接続され、エア漏れが無いか確認してください。



5. アフターケアについて

- ・イルミネーションバルブが切れた場合は、メーター本体裏側のイルミネーションバルブシールを丁寧にはがし、メーター用オプションパーツのイルミネーションバルブと交換してください。
- ※バルブ交換後、メーター本体の短絡 (ショート)、異物の混入を防ぐ為にイルミネーションバルブシールは、必ず取り付けてください。

6. アフターサービスについて

- ・付属されている保証書は、大切に保管してください。
- ・新品をお買い上げの時点で、保証書とメーター本体の製品番号が異なっている場合は、お手数ですが、お買い上げ店、または弊社までご連絡ください。
- ・万一、ご購入年月日より1年以内に、当社の責任と認められる故障を生じた場合は、保証書と合わせて製品をご呈示くだされば、無償修理いたします。
- ・保証期間経過後の修理、また、お客様の不注意により修理が必要になった場合でも、お気軽に弊社までご連絡ください。